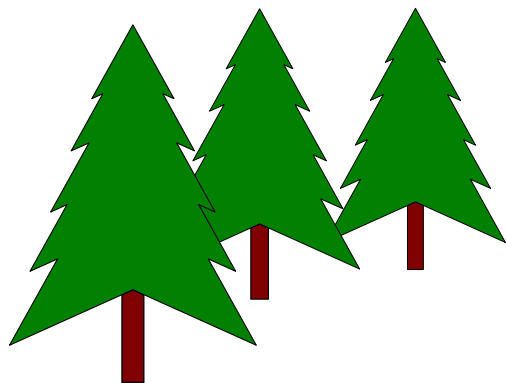


【交通・環境学習】の実践事例：その4

出前講座「コミュニティバス体験乗車」
+
「みんなが使う「電車・バスマップ」をつくろう」

小学校4年，5年，6年向き



1.概要

○バス乗車体験を通して、新しい発見や問題点を発掘し、みんなに使ってもらう工夫を考えます。

○環境にやさしい交通手段の利用の仕方を学び、公共交通機関の利用の習慣を形成します。

教材	出前講座「コミュニティバス体験乗車」
	みんなが使う「電車・バスマップ」をつくろう
対象学年	4年、5年、6年
学習のタイプ	課題発見学習+実践学習
実施教科	総合的な学習の時間、社会科、理科、クラブ活動
連携教科	社会科、理科
標準校時	8校時(4校時+4校時)
学習場所	教室、校区内、家庭

2.学習の構成

【出前講座：コミュニティバス体験乗車】

ステップ1：導入



ステップ2：コミュニティバス体験乗車
・バスマップ、時刻表などの見方や乗り方について学習する。
・バスに乗車する。



ステップ3：バス体験報告会

・バス利用経験がない児童が増えています！ぜひ体験乗車をお勧めします。
・「路線バス体験乗車」も可能

【みんなが使う「電車・バスマップ」をつくろう】

ステップ4：環境にやさしい交通手段って何？



ステップ5：ふだんみんながよく行くところは？



ステップ6：電車・バスでの行き方を調べよう



ステップ7：私たちのまちの「電車・バスマップ」をつくろう



ステップ8：みんなに使っていただく！

3.準備

【出前講座：コミュニティバス体験乗車】

学校で準備するもの	出前講座(コミュニティバスなど体験乗車)の申し込み →コミュニティバスの場合：市町村のバス管理課 →路線バスの場合：上記もしくは路線バス運行会社 筆記用具、保護者への案内(乗車体験の引率等支援依頼)
行政が提供するもの	バス路線/系統図やパンフレット、時刻表、ワークシート(バス乗車体験記、みんなのバスをより良くするために等)、体験乗車補助

【みんなが使う「電車・バスマップ」をつくろう】

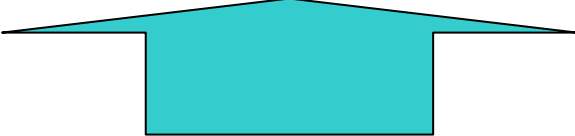
学校で準備するもの	白地図(校区+主要ターミナルまでを含む)、筆記用具
行政が提供するもの	テキスト(環境にやさしい乗り物(電車・バス))、鉄道・バス路線/系統図やパンフレット、時刻表、ワークシートおよびカスタマイズ支援

4.学習の実際

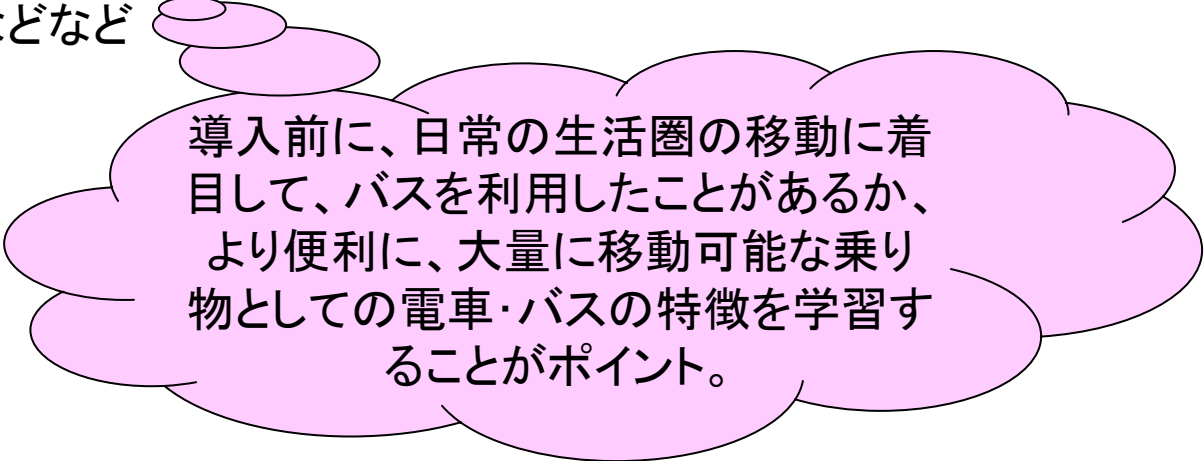
ステップ1:導入

○動機の形成:

**バスの利用方法を習得し、実際に使ってみよう
どんな新しい発見や問題があるかしら？**



「私たちのまち・くらし(社会科)」
「公害と環境の保全(社会科)」
「交通の歴史(社会科)」
「人と環境、空気(理科)」
などなど



導入前に、日常の生活圏の移動に着目して、バスを利用したことがあるか、より便利に、大量に移動可能な乗り物としての電車・バスの特徴を学習することがポイント。

ステップ2: バスに乗ってみよう

○系統図、時刻表や乗り方について知ろう。

- ・バスマップや時刻表の見方や乗り方について、専門家の人から話を聞きます。

○バスに体験乗車しよう！

- ・学校や支援の状況に応じて、「体験乗車」の方法等を決めます。
- ・「バス体験乗車記」の記録に際して、“バスに乗って何を発見？”、“バスの問題点？”などについて、記録するようにします。



時刻表、地図の見方や
バスの乗り方について、
レクチャーを受ける。



・バスに乗って、車内だけでなく、車外を見て、初めて見たもの、知ったことやどう感じ方を記録する。
・様々な利用者(子ども、高齢者、妊婦および障害を持つ人、外国人など)を想定してバスに関する問題点などを考えさせる。

ステップ3:バス体験報告会

○体験乗車した感想などを発表しよう！

- ・グループで、一人ひとりが記録したものを基に話し合いをします。
- ・グループごとに話し合いをした結果を報告します。

○みんなに使ってもらうためには？

- ・グループで、みんなに使ってもらうために私たちができることを考え、提案します。
 - ・提案したことで私たちができることを発信するための情報を作成します。
- ⇒たとえば、

電車・バスマップをつくってみよう！

みんなに利用してもらうための提案、提言



- ・グループで話し合ったことをまとめて、報告します。
- 新しい発見、初めての経験、初めてのコミュニケーション等
- ・自分たちでできることを考えます。

ステップ4: 環境にやさしい交通手段って何？

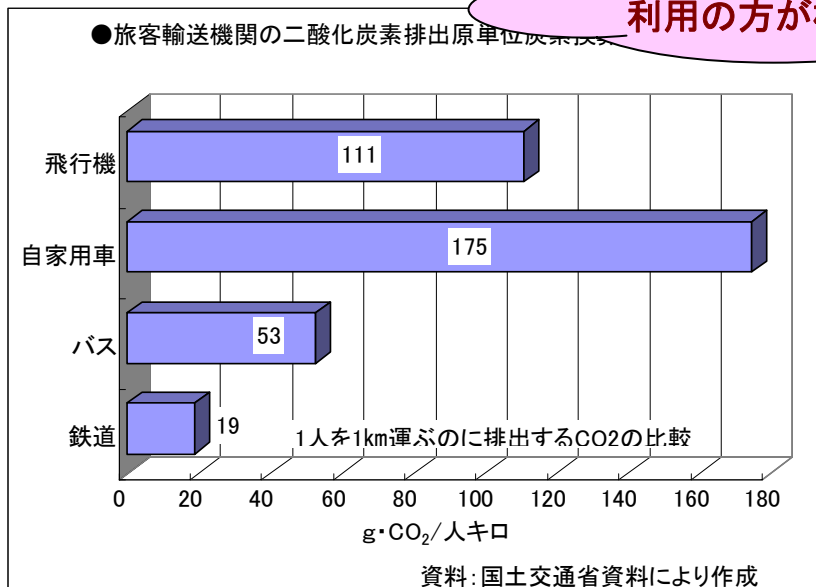
○交通手段の特徴

・クイズなどでクルマと比べて、電車・バスが環境にやさしい移動手段であることを学習します。

○バスは環境にやさしい移動手段？！

・クルマと電車・バスの“良いところ”、“悪いところ”の両方の意見を出させます。

短期的・利己的にはクルマが優れるかもしれませんが、長期的・社会的には電車・バス利用の方が格段に優れます！・・・ジレンマ



各交通手段の二酸化炭素排出量比較

	長 所	短 所
自動車	<ul style="list-style-type: none"> 移動時間が短い 出発, 到着時間が自由 経路の選択が自由 たくさんの荷物を運べる 逐一、料金を払う必要がない 自慢できる プライバシーが守られる 気分が高揚する <small>(地方部では) 定時性がある</small>	<ul style="list-style-type: none"> 渋滞することがある ガソリン代, 維持費がかかる
電車やバス	<ul style="list-style-type: none"> 友達との会話 移動中, 本を読むことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 利用できる時間が限られる 経路を自由には選べない 少しの荷物しか運べない 毎回料金を支払う必要がある 駅, 停留所まで遠いことがある 快適な環境とは言えない 自慢できない/天気に左右される 混雑する/職員の態度が悪い 衛生的でない/騒音がする/危険がある 移動時間が長い/定時性がない

便利なクルマ・不便な電車やバス

ステップ5: ふだんみんながよく行くところは？

○みんながよく行くところは？

- ・クラスのみんながよく行くところを地図(ガリバーマップ)に記入します。
- ・クラス全体で見ると、どこに、どの手段等で多く行っているかを確認します。

○環境にやさしい行き方は？




- ・代表的なクルマで行く目的地に行く場合に着目して、“環境にやさしい方法がないかを議論し、”環境にやさしい交通を知らせるために「私たちのまちの電車・バスマップ」をつくります。

・目的地シンボルをシールなどにしておくと楽しく作業できます。

・白地図は、校区地図や市販地図を活用します。また、1/25000白地図は、国土地理院のHPから無料ダウンロードできます

・必ずしもガリバーマップでなくても可



 : バス停  : 車でやっているところ  : バスで行っているところ



ガリバーマップの例

ステップ6: 電車・バスでの行き方を調べよう

○代表的な目的地までの電車やバスでの行き方を調べよう

・代表的な目的地を設定し、家もしくは学校から目的地までの電車やバスでの行き方を知るために、どんな情報が必要であるかを列挙させます。

○グループなどで役割分担を決め、調べます。



・電車やバス等の系統図/
時刻表/料金などの情報は、
提示してもよい。

・電車やバス会社に問合せ
やホームページを参考にし
てもよい。

ステップ7: 私たちのまちの「電車・バスマップ」をつくらう

○みんなに使ってもらうために何が必要か考えよう

・みんなに使ってもらうという目的で、必要な情報を抽出します(地図情報、路線・系統情報、駅・バス停情報、時刻表、所要時間、料金など)。

○作業分担して、「電車・バスマップ」を完成させよう

・作業分担して、みんなですべてのものをつくる作業にすることが望ましい。

○家族のみんなに見てもらい、使ってもらい、感想を聞こう。

・完成したらコピーを持ち帰らせ、家族に使ってもらうように提案し、感想を聞く視点を確認しておきます。

・保護者通信などで、保護者への協力依頼をお願いしておくことが望ましい。

RIKA通信

2003. 11. 28.

ご協力をお願いします!

勉強して、私たちが住んでいる豊中市なのだから、そのCO2などを減らさなければいけないと思う。こ住みよい豊中市をつくりたい。(保護者への感想より)

この学習を通して、子どもたちが環境をよくしようとする思いが生まれてきました。そこで、CO2を減らす方法を、実際に一週間、実践してみることにしました。子どもを頼まれて、違うコースの方も、少し取り組んでみようかというの取り組みは、家庭で・・・ということになりました。協力が必要になってきます。お忙しい中、ご協力をお願いします。

プランを親子で話し合う時に・・・
あくまでも「便利で豊かなくらしを大きく変えずにCO2の排出量を減らす」ことが、目的です。ご家庭の事情に合わせて、無理のないプランになるようにアドバイスをお願いします。

電車コース、電気・ガスコースにはなっていますが、お子さんと一緒に取り組んでみることにしました。電車コースの方も、少し取り組んでみようかというの取り組みは、家庭で・・・ということになりました。協力が必要になってきます。お忙しい中、ご協力をお願いします。

この学習を通して、子どもたちが環境をよくしようとする思いが生まれてきました。そこで、CO2を減らす方法を、実際に一週間、実践してみることにしました。子どもを頼まれて、違うコースの方も、少し取り組んでみようかというの取り組みは、家庭で・・・ということになりました。協力が必要になってきます。お忙しい中、ご協力をお願いします。

この学習を通して、子どもたちが環境をよくしようとする思いが生まれてきました。そこで、CO2を減らす方法を、実際に一週間、実践してみることにしました。子どもを頼まれて、違うコースの方も、少し取り組んでみようかというの取り組みは、家庭で・・・ということになりました。協力が必要になってきます。お忙しい中、ご協力をお願いします。

この学習を通して、子どもたちが環境をよくしようとする思いが生まれてきました。そこで、CO2を減らす方法を、実際に一週間、実践してみることにしました。子どもを頼まれて、違うコースの方も、少し取り組んでみようかというの取り組みは、家庭で・・・ということになりました。協力が必要になってきます。お忙しい中、ご協力をお願いします。

この学習を通して、子どもたちが環境をよくしようとする思いが生まれてきました。そこで、CO2を減らす方法を、実際に一週間、実践してみることにしました。子どもを頼まれて、違うコースの方も、少し取り組んでみようかというの取り組みは、家庭で・・・ということになりました。協力が必要になってきます。お忙しい中、ご協力をお願いします。

この学習を通して、子どもたちが環境をよくしようとする思いが生まれてきました。そこで、CO2を減らす方法を、実際に一週間、実践してみることにしました。子どもを頼まれて、違うコースの方も、少し取り組んでみようかというの取り組みは、家庭で・・・ということになりました。協力が必要になってきます。お忙しい中、ご協力をお願いします。

この学習を通して、子どもたちが環境をよくしようとする思いが生まれてきました。そこで、CO2を減らす方法を、実際に一週間、実践してみることにしました。子どもを頼まれて、違うコースの方も、少し取り組んでみようかというの取り組みは、家庭で・・・ということになりました。協力が必要になってきます。お忙しい中、ご協力をお願いします。

この学習を通して、子どもたちが環境をよくしようとする思いが生まれてきました。そこで、CO2を減らす方法を、実際に一週間、実践してみることにしました。子どもを頼まれて、違うコースの方も、少し取り組んでみようかというの取り組みは、家庭で・・・ということになりました。協力が必要になってきます。お忙しい中、ご協力をお願いします。

この学習を通して、子どもたちが環境をよくしようとする思いが生まれてきました。そこで、CO2を減らす方法を、実際に一週間、実践してみることにしました。子どもを頼まれて、違うコースの方も、少し取り組んでみようかというの取り組みは、家庭で・・・ということになりました。協力が必要になってきます。お忙しい中、ご協力をお願いします。



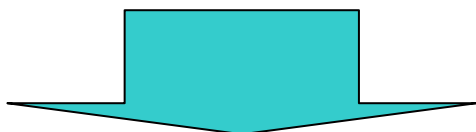
出典:京都市「おでかけマップづくり」ワークショップ

・保護者通信などで、学習の概要や保護者の協力依頼をお願いすることがポイント。

・保護者通信などは、家族の理解や協力を得るために非常に有効。

ステップ8: みんなに使っていただく！

- 発表会を計画して、発表資料、プレゼンテーション準備を行う。
- 発表会を開催する。



自分たちで作った「電車・バスマップ」の感想をまとめ、自分たちの考えや提案が、実践できたことを報告する。



5.発展型

○「コミュニティバス体験乗車」の代わりに・・・

- ・「路線バス体験乗車」
- ・「鉄道駅訪問」
- ・家庭学習「電車・バスを使ってみよう」

○「電車・バスマップ」を作ろうの 代わりに・・・

- ・「電車・バスはみんなの乗り物」
 - ・「コミュニティ・バス(路線バス)
改善計画」
- に取り組むことも可能です。

→グループ毎にテーマを変えることも選択肢の一つ。